

第4学年 体育科学習指導略案

教科等	体育科	単元名	ゴール型ゲーム ハンドボール	本時	全8時間扱いの6時間目
学級	4年3組	授業者		教室等	校庭

<本時の指導>

<本時のねらい>	
○チームの課題に合った作戦を選び、ゲームに取り組むことができる。	
	主な学習活動【4つの視点】 主な発問:T 予想される児童の反応:C ○研究主題にせまる6つの手立て □…指導上の留意点 ☆…評価 ※UD
導入	1. 集合・挨拶・整列 2. 本時のめあてを確認し、個人やチームのめあてを立てる。 【発見】 T:今日は、前回と同じようにチームの課題から簡単な作戦を選んで、ゲームを行い、全員がゴールできるようにチームで協力しましょう。 チームの課題に合った簡単な作戦を選んで、ゲームに取り組もう。 3. 場や用具の準備をする。 4. 準備運動をする。
展開	5. ゲームにつながる運動をする。【決定】 T:チームの課題に合った練習方法を選び、練習しましょう。 6. チームタイム1【対話】 T:前回のゲームでの気付きを活かして、チームでどんな作戦にするか話し合ひましょう。 C:前回のゲームでパスの時間を短くしたら、点がよく入ったから、今回も続けよう。 C:おとり役に気を取られている間にシュートをしよう。 7. ゲーム1 T:選んだ作戦を意識して、ゲームに取り組みましょう。 8. チームタイム2【対話】 T:ゲーム1で選んだ作戦が勝つために有効だったかどうかを振り返ってみよう。 T:作戦を選び直してもいいですよ。 9. ゲーム2 T:選んだ作戦を意識して、ゲームに取り組みましょう。 10. チームタイム3【対話】 T:ゲーム2で選んだ作戦が、ゲーム1の改善につながったか話し合ひましょう。
終末	11. 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。 T:本時の相手チームとゲーム1・ゲーム2の結果を書きましよう。また、選んだ作戦と、その作戦でゲームをして気付いたことや考えたことを書きましよう。 12. 整理運動・場の片付け 13. 集合・挨拶・整列

【板書計画】

ハンドボール⑥	チームの課題に合った簡単な作戦を選んで、ゲームに取り組もう。
学習の流れ	
1 準備運動	簡単な作戦例
2 ゲームにつながる運動	
3 チームタイム1	
4 ゲーム1	
5 チームタイム2	前時までのよかった動き
6 ゲーム2	写真
7 チームタイム3	写真
8 整理運動	写真
9 振り返り	

【研究主題にせまる6つの手立てとの関連】

(1) 「自分の考えを言葉で表現する」ための手立て

話題設定の工夫

単元の大きなテーマを「全員ゴールを目指そう」と設定し、児童一人一人が仲間と協力して課題を解決する意識をもてるようにする。導入では前時の学習を振り返り、これまでに見付けた工夫や課題を想起させることで、学習の連続性を意識させる。その上で、「どうすれば苦手の児童もゴールを決められるか」「全員でゴールを目指すにはどんな作戦が必要か」といった問いを投げかけ、本時の学習課題を児童とともに設定する。これにより、児童が課題の必然性を感じ、自分たちの目標達成のために自然と話し合う理由が生まれるようにする。

(2) 「学び合う」ための手立て

交流の目的と視点の明確化

「全員が得点を取るためには、どうすればよいか」という目的と「ボールのない時の動きはどうすればよいか」「シュートを打つ位置はどこがよいか」「パスをもらう位置はどこがよいか」という視点を与える。